

【柏市選出】  
**千葉県議会議員**

な か た ま な ぶ  
**中 田 学**

The Democratic Party  
**民進**  
民進プレス  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
Mail press@dpj.or.jp  
Tel 03-3595-9988

千葉県第8区  
総支部 柏市版  
2017年6月号



**中小企業の活力が日本を元気にする。  
その魅力を伝え、支える。 - 経済政策 -**

中小企業は、主に中小企業基本法で定義されていますが、この定義に沿えば、我が国の企業の99%以上が中小企業となり、全労働人口の約7割、3,361万人にのぼります。また業種別内訳をみると、全体の11%が製造業、65%が卸・小売業やサービス業となっています。

近年、地域の雇用を担う産業は、製造業からサービス業へと変化しつつあります。1980年代は製造業や建設業が雇用の大半を占めていましたが、最近ではサービス業や医療・福祉の産業で従業員数の大幅な伸びがみられます。そんな中小企業の課題は、人手不足と後継者不足です。新卒者は大企業への就職希望者が大半で、新たな担い手の確保が困難な状況です。

現在の中小企業経営者で一番多い年齢は66歳です。2020年頃には、数十万人の団塊世代の経営者が引退の時期となります。そのうち5割が、後継者がいないなどの理由で廃業予定と回答しています。そこで中小企業の人材確保を支援するため、国会で民進党は、「中小企業社会保険料負担軽減法案」を提出しています。

これは正規雇用を促進していくため、正規労働者を増加させた中小企業に対し、増加数に応じ、助成金を支給するものです。具体的には新たな雇い入れに係る社会保険料の、事業主負担分の2分の1相当を助成金として、10年間支給するものです。正社員が増えれば、勤労者や家計の所得も増え、それぞれのライフスタイルの安定にもつながります。

長い目で見れば所得税や消費税の増収によって、日本の社会保障、財政の安定にもつながり、日本を持続可能な経済社会にしていくことを実現する法案です。

**中田学 Profile**

【1973年3月15日生】44歳  
北海道室蘭市生まれ  
柏市立光ヶ丘小、中学校卒  
流通経済大学付属柏高卒  
流通経済大学経済学部卒  
会社設立代表取締役就任  
早稲田大学人間科学部卒  
松崎公昭元衆院議員秘書  
都市計画審議会委員  
千葉県社会保険労務士  
制度推進議員連盟副会長  
環境生活警察常任委員会  
日中友好議員連盟  
看護議員連盟

民進党千葉県連第8区  
総支部幹事長  
民進党南関東ブロック  
代表青年委員長  
議会運営委員会委員  
決算審査特別委員会  
柏さかさい保育園監事  
柏しんとみ保育園監事  
柏中央保育園監事  
NPOグループホーム  
陽だまり理事  
みどりを愛し守る会理事  
柏市中央倫理法人会幹事  
手賀沼水環境保全  
協議会顧問

柏稲門会会員  
柏ユネスコ協会賛助会員  
柏・北海道人会会員  
東葛山形県人会賛助会員  
柏友舞踊協会後援会会長  
流経大付属柏高同窓会  
副会長  
柏市グラウンド  
ゴルフ協会顧問  
柏市レスリング協会会長  
東宇国際交流会会員  
塚崎二丁目自治会元相談役  
柏市立大津二小元PTA会長  
柏青年会議所元副理事長



↑ 続けていたこと

札幌の祖母に  
12年半の間、  
毎日ハガキを  
書き続けたこと

# 6月定例県議会、まもなく開会 開会日は6月15日。



マナブくん 第32話 中小企業の在り方を考える

マナブくんが活躍するWebサイトはこちら



直面する様々な課題を解決すべく支えていかなくや。

地域経済を支えているのは中小企業だ。



マナブくん 千葉県から日本を変える、ストップ！無縁社会超絶テクドラママーでもある。



大企業取引、経営者による信用保証など多くの課題も抱えている。

中小企業では産業構造の変化、経済の国際化、地域経済の脆弱化、



民主党政権時代は、中小企業予算の倍増、中小企業遠隔化法の制定など様々な施策を講じてきたんだよ。

民進党は中小企業社会保険料負担軽減法案、第三者保障禁止法案など、中小企業をめぐめる規制適正化にも注力しているんだよ。



エンチョウ 言葉を話す頭脳犬。親友・マナブくんをフォローしたり、実は偉い地位にいて、名前の由来もそこらとか。



中小企業で働くことは、一人一人が組織大なる役割を担って、多様な仕事を体験し、活動しやすい日本を目指していかなくや！

地域経済が中小企業、小規模企業を支え、中小企業が地域経済と雇用を支える好循環。それが民進党の目指す日本なんだよ。

経済政策は中小企業の活力強化が基本です。



平成29年度6月補正予算案について、職員からヒアリングを受けました。6月補正予算は、経常的経費を中心に骨格予算として編成した当初予算に続き、政策的判断を要する経費や新規事業、投資的経費のうち新規着手分などを計上する肉付け予算として編成されています。補正予算額は964億33百万円、当初予算と合わせた6月補正後の予算規模は1兆7,261億61百万円となり、前年度比122億61百万円の増加となる見通しです。中でも今予算案で「医師修学資金貸付事業」について、私が2月議会で質問・指摘していた、該当する医学部系大学が限定されていたことで、新設された国際医療福祉大学が対象外となってしまっていたことや、貸付枠の人数拡充などに予算を組んでもらえたことなど、早々に指摘内容の課題解決ができました。

今回の県の対応によって、今後医師を目指す学生が、しっかりと目標に向かって努力していけることと確信しました。

改定されました！

1 事業の目的・概要	地域に必要な医療を安定的に提供するため、医学部生や看護学生に対する修学資金の貸付対象者数を拡充し、医師・看護師の確保対策を一層強化します。
2 貸付制度の概要	<p>◎ 医師修学資金貸付事業 <b>33,000千円</b> (当初予算とあわせ <b>506,100千円</b>) (H28当初 <b>438,900千円</b>)</p> <p>(1) 長期支援コース ※H21年度～ <b>貸付枠: H29年度当初 38名⇒6月補正 48名 (+10名の拡充)</b>          [貸付対象] 県内の大学医学部、知事が指定する県外の大学医学部 (順天堂大学、日本医科大学、帝京大学、東邦大学) の学生          [貸付額] 国公立大学15万円/月、私立大学20万円/月</p> <p>(2) ふるさと医師支援コース ※H26年度～ <b>貸付枠: H29年度当初 10名⇒6月補正 15名 (+5名の拡充)</b>          [貸付対象] 県外の大学医学部の学生 (※大学の限定はありません)          [貸付額] 一律15万円/月</p> <p>*いずれも卒業後に貸付期間の1.5倍の期間(最長9年間)、県内の病院等に勤務することで貸付金の返還が免除されます。</p> <p>◎ 新規貸付枠: H29年度当初 48名⇒6月補正 63名 (+15名の拡充)</p>

↑ (平成29年度6月補正予算案 施策関係資料より抜粋)

## 中田学事務所

〒277-0922 千葉県柏市大島田 290-2F  
TEL 04-7128-8172 FAX 04-7128-8171



Facebook  
で活動報告。



最新情報は  
こちらから

mail : nakatajimuso@gmail.com URL : http://nakatamanabu.com

中田学

検索